



きょう子通信

2017年7月
No.44

常滑市議会議員 新風クラブ 井上 恭子

ご意見 千479-0866 常滑市大野町6-56(大野町きょう屋内)
ご相談は TEL/FAX: 42-1307 E-mail: kyo-ya@infoseek.jp

Facebookもチェック フェイスブック井上恭子(Kyoko Inoue)もご覧下さい。 いいね!



反対!

カジノ誘致 再チャレンジ請願に反対!



常滑商工会議所が常滑市議会に請願
「調査研究を進めるよう県と市への働きかけをもとめる」

昨年「特定複合観光施設区域の整備に関する法律」が施行されたことを受けて、常滑商工会議所から常滑市議会に対して、「愛知県及び常滑市に対し、統合型リゾート(IR)の誘致に向けた調査研究を進めるよう、速やかに働きかける」請願が出されました。趣旨として、「雇用機会の増大やカジノ収益の社会への還元などを通じて、地域経済の振興に大きく貢献する」とされていますが、本当にそうでしょうか?

米国のラスベガスですら斜陽産業となり、近年は大型見本市とアミューズメントホテルがラスベガスのメイン産業になっています。長年、公営ギャンブルに頼ってきた市政運営の結果が現在の常滑市の姿だとするならば私は賛成できません。



そもそも『統合型リゾート』とは言っても世間一般のリゾートとは程遠く、カジノを中核とした施設が「統合型リゾート(IR)」です。ギャンブル依存症がいかに悲惨な人生をおくっているか、カジノに付き物の女とヤクザは避けて通れません。この世の中で、綺麗事で済む賭博など一つも無く、敗者の犠牲によって成り立つものです。

日本のギャンブル依存症人口は536万人、依存症人口比率は成人人口で「日本4.8%、米国 1.58%、香港 1.8%、韓国 0.8%」という調査結果もあります。国はギャンブル依存症防止策は遅れており今後進めるとは言っていますが、昨今の日本政界の切り捨てごめんの風潮そのままになりそうです。

以前、常滑商工会議所がカジノ誘致を目指して大々的に調査研究しましたが、商工会議所本来の目的から逸脱しているとの意見が会員からも非常に多くあがったことは皆様の記憶にも未だ残っていることでしょう。

各地のカジノ視察だけでなく、「カジノフォーラムインとこなめ」を平成16年2月13日に常滑市文化会館にて大々的に開催し、提言冊子も発行されました。カジノフォーラムでは、大阪商業大学学長の谷岡一郎氏の基調講演をはじめ、パネルディスカッション、模擬カジノ体験も盛大に模様され、『**カジノ依存症は自己責任**』と明確に結論付けられました。

もともとカジノ構想は臨空地域の企業誘致が進まないための用地活用として検討されたのですが、その後、イオン等の進出が決まり、その様な地域にカジノが馴染まないことも断念した大きな要因でした。

総額かなりの費用を費やして一定の結論を導き出したにも関わらず、当時の調査研究結果を横に置いての今回の請願書は欠落している部分が多々あり、強い違和感を感じるのは私だけではないでしょう。



統合型リゾートIRはカジノを前提としていますが、カジノ抜きで統合型リゾートにはなんら異を唱えるつもりはありません。今回の請願は**カジノありきだから反対**するのです。

市民の声

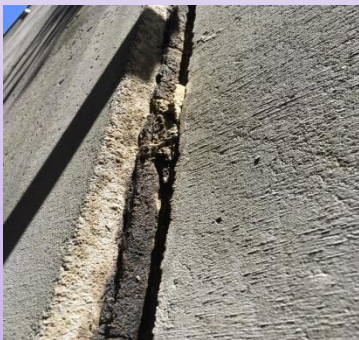
日本が世界に誇る工芸文化、産業遺産、豊かな自然を活かし、地場産業の活性化や市内観光の推進に努めるべき。
常滑市から商工会議所への補助金 商工振興費 538万9千円(毎年)

大規模災害時の自助努力を

現在の防災マップには、避難場所と書かれている所にも危険な場所が含まれています。住民側にも緊急時の心構えができていない人がとても少ないです。また常滑市は市外在住の職員も多く、地域でも人手不足が懸念されているため、自助努力の推進をお願いしたい。

答 適宜見直し工夫をしていく

公助は限られるため自助の啓発をしたい



コンクリート壁面の押し出し・剥離

大地震で崩壊し、園庭・校舎が崩れ落ちそうでもマップには「地震○」の表示になっている。

答「改めてチェックをして危険な避難場所は見直し対策していく。」

地震避難場所である保育園の地盤を支える壁面の崩壊部

男女共同参画の推進を

第1次常滑市男女共同プランが策定されすでに17年が経っている。しかし審議会などの女性登用率は目標値に達せずむしろ下がっている。これからどう上げていくのか。

答 重要な課題と認識している。目的を達せられるよう総合的に十分考慮して行っていく。

審議会等委員の女性の登用状況

目標30%

平成17年	27.1%
平成25年	22.1%
平成27年	24.1%
平成28年	21.4%

(平成28年審議会数44

委員数561うち女性数120)

健康影響のある

生活習慣の是正対策を

私たちの生活の中の電磁波、食品、嗜好品などにより、知らず知らずのうちに健康を害することが多々あります。

LEDはブルーライトのため、受信障害が起こり目にも障害を当えます。米国では電磁調理器も禁止、携帯も小中学校は禁止です。市民にこれらの危険をどう周知していきますか。

答 健康も介護もすべて予防原則の考え方で、状況を見て適切に判断していく。

電磁波ノイズや

フリッカーによる健康被害例

- 頭痛
- 疲労
- 精神的ストレス
- 睡眠障害
- 筋肉痛
- 集中力の低下
- めまい
- 吐き気
- 動悸
- 消化器の障害
- 白血病
- その他多くの健康問題



常滑市民の救急救命センター・災害派遣医療チームは「半田病院」

半田病院を高台へ！ まだ諦めません！

元半田市長候補 医師 浅野麻里奈氏

6月4日投開票の半田市長選挙では、半田病院の移転問題が最大の争点となりました。現職の榊原氏は、半田病院を、液状化の危険性が極めて高く、伊勢湾台風で約1か月水が引かなかった海拔の低い地域、現半田病院付近の土地への新築移転を訴えておりました。医師としてこの問題に取り組んでいた私は、今回、半田病院の高台移転を公約として立候補いたしました。伊勢湾台風の経験者、災害医療の専門家には、この地への新築に反対する方が多かったにも関わらず、市民の同意も得ずに強引に計画を進めようとする政治手法に疑問をもっていました。選挙の結果は、現職の榊原純夫氏が19903票で当選、私・浅野まりな18939票、松井秀樹氏2885票でした。選挙では敗けたものの、松井候補も高台移転を訴えており、選挙結果からは高台移転を望む市民が多いと考えられました。

私は選挙で敗北後も半田病院の移転問題に取り組んでいます。半田病院は、知多半島で唯一の救命センターをもつ病院であり、唯一の中核災害拠点病院です。

半田病院には、平時にも、災害時にも、知多半島全体の命を守る病院であってほしいと医師として切に願っています。常滑市を含む近隣の市町にも大きくかわる問題です。災害時に発生する最重症患者さんの搬送先は、半田病院しかないのですから。是非、この半田病院の移転問題、周辺市町からも声をあげていただきたいと思います。私たちの活動を、見守り、ご支援いただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。全力で応援してくださっているきょう子さん、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



採決日、傍聴席は人でいっぱい

6月26日の議会最終日、委員会報告、質疑、討論後採決が行われました。今回普段はほとんど市民がいない最終日にもかかわらず、**カジノに関する請願**が出たため、多くの常滑商工会議所の面々が傍聴に来ていました。私はカジノ付き統合的リゾート誘致に関する請願に反対討論を、政治分野における男女共同参画についての意見書で趣旨説明をしましたが、下記の結果になりました。

【請願書】

反対討論を行う

第1号 統合型リゾート(IR)の誘致に向けた調査研究を進めるよう愛知県及び常滑市に働きかけを求める請願

【意見書案】

第1号「地方財政の充実・強化を求める」

賛成の趣旨説明を行う

第2号「政治分野における男女共同参画推進法」の早期制定を求める

第3号「テロ等準備罪」(共謀罪)の創設に反対する

きょうこコメント

女性議員が増えると困る？



「政治分野における男女共同参画推進法の早期制定を求める」と「テロ等準備罪の設立に反対」は否決されました。

女性が政治家になることがいかに難しいか、**まずは「地盤、看板、カバン」がないことです。**また、男尊女卑がはびこる地方では、**選挙に女性が出るだけで白い目で見られます。**男性政治が悪いわけではなく、介護、福祉、子育てなど、生活に根差した**現場を知っている女性の発言も必要ではないでしょうか。**

「テロ等準備罪」にしても男女の脳の働きが違うためか大半の女性は反対を唱えます。**女性の政治家が増えれば戦争への道は少なくなるでしょう。**

毎回ではありますが、私と西本さんの国に提出する意見書などは全て否決されます。「本当はカジノもいらない、女性の進出が必要だよな」と言っている議員もいるのに、採決となると党議拘束があり、賛成しません。

議会はものすごい権力構造であり、気に入らないやつは会派に入れない、ヤジは飛ばす、威圧感が支配する文化、つまり『忖度しろ！お前は気に入らないので役は一つもやらないぞ！』というような恐怖支配の世界です。

このような議会の状況を告げ口？するのも女性かもしれません。**市民の皆様政治に目を向けてください！**

議員名 (敬称略)	テロ等準備罪	政治分野における男女共同参画	地方財政の充実・強化を求める	統合型リゾート(IR)の誘致
所 属				
西本 真樹 (共産)	○	○	×	×
加藤代史子 (公明)	×	×	○	○
井上 恭子 (新風クラブ)	○	○	×	×
中村 崇春 (翔政会)	×	×	○	○
伊奈 利信 (翔政会)	×	×	○	○
森下 宏 (翔政会)	×	×	○	○
稲葉 民治 (翔政会)	×	×	○	○
加藤 久豊 (翔政会・自民)	×	×	○	○
都築 周典 (創造未来)	×	×	○	○
杉江 繁樹 (創造未来)	×	×	○	○
冨本 健 (創造未来)	×	×	○	○
相羽 助宣 (翔政会)	×	×	○	○
伊藤 史郎 (創造未来)	×	×	○	○
成田 勝之(創造未来・民進)	×	×	○	○
盛田 克己(創造未来)	×	×	○	○
川原 和敏 (創造未来)	議 長			

市民の一票で選ばれた議員が、支援者、投票者に話をする訳でもなく、個人や仲間の都合で、賛成したり、反対している姿は、傍聴していて気分の良いものではありませんでした。

確かに、票で託され、代表として出ているという自覚があつての事と思いますが、本件については、地元議員が地元を持ち帰り、地元の意見を聞いて、その意見を持って委員会で十分な話し合いをし、意見書、請願書の採決に持って行くべきことである様な気がしました。

常滑市は、議員の物でも商工会議所の物でもありません。市民の物です。市民を置き去りにした請願書や、意見書が通っていくのは間違っている様な気がしました。



6月26日、議会を傍聴して

本物を体で感じてほしい

講演会 & 太極拳

身・心ともに健康術

平成29年9月23日（土） 午後1時30分～

常滑市民病院 とこなめホール



劉紅年 氏

（中国出身 医学博士）

女性の体は穴だらけ、男性の体は鉄のようだが綿だらけ、健康維持のためにどんなことをしたらいいのか。

【主催】常滑市民病院・病院ボランティア

Cafe de 情報交換



決算書を見てみよう！

9月7日（木）10時～大野町きょう屋

9日（土）19時～中央公民館

紙面だけではお伝えできない問題を詳しくお伝えします。皆さんのご意見・要望もお聞かせください。

【研修会報告】 美濃加茂市のまちづくりを訪ねて

平成29年6月18日、総勢23名で美濃加茂市まちづくりコーディネータとして活躍の加藤慎康氏の案内で、美濃加茂市のまちづくりの取組みについて研修に行きました。多文化共生で、さまざまな取り組みに行政職員がボランティアとして関わっていることなど、非常に刺激になりました。



藤井美濃加茂市長です

若手の農業従事者が中心で、日系ブラジル人との絆づくりのBBQは格別です。東浦神谷町長も参加

泥んこ遊び大好き

収穫祭では子ども達と一緒にドロドロになりながら田植え体験です



美濃加茂ブランドに

果樹園の店主が食べるハイビスカスとして、ローゼルという飲み物を美濃加茂市の特産として開発している。

すごい！住民パワー

市の管理だったキャンプ場を、住民がこれでは寂れてしまうと立ち上がりバーベキュー小屋を作ったりして管理運営を。



9月議会 9月13日（水）～10月10日（火）

一般質問 9月14日（木）・15日（金）

決算特別委員会 29日・10月4・5・6日

傍聴にお越しくささい

駅頭報告 午前6時30分～7時30分

7月18日（火）大野町駅

19日（水）榎戸駅

20日（木）常滑駅



一般質問を動画でどうぞ 常滑市役所HP→市議会→本会議録画映像